

令和5年度 都立田無工科高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	<ul style="list-style-type: none"> 文章を正確に読み、理解する 「話すこと・聞くこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒につけたい力を明確にして単元を選定し、生徒にとって身近な内容を交えながら説明する 毎回の授業で漢字に取り組む時間を取り、社会人として必要な漢字の読み書きができるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 問いや課題を周りの人と協力しながら取り組み、自分の意見を表出する機会を多く設ける 日頃使用している言葉の由来や変遷に気づかせる
社会	<ul style="list-style-type: none"> 授業内容と身近な出来事のつながりを理解する 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機器や教科書に載っていない資料なども用いて生徒の興味・関心を引き、社会科の授業をより身近に感じさせる 	<ul style="list-style-type: none"> 現代の諸課題について、授業中の発表やワークシートでの学習を通して、多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力を養う
数学	<ul style="list-style-type: none"> 数学的な考え方の良さを理解する 計算等の基礎事項に習熟する 	<ul style="list-style-type: none"> 習熟度に合わせて展開授業を行い、理解度に応じた数学的素材に触れる経験を持たせる 反復演習の機会を多く確保し、習熟度を高める 	<ul style="list-style-type: none"> 習熟した事項を、より広範な題材へと活用する経験を持たせる 問題を解くだけでなく、活用する知識や考え方に関心を持ち、過程への考察を深める
理科	<ul style="list-style-type: none"> 科学的な過程を理解する 身近な現象を科学的な視点で捉える 	<ul style="list-style-type: none"> ICTを用い、興味・関心を引き、概念を理解しやすいよう教材化する 実習活動や個人端末の利用により、体験的な学習を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 時事情報の科学的見方や、最新の知見などを紹介 日常生活への興味・関心を持たせ、科学的な過程による理解・考察を深める
体育	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体に気付き、体の調子を整えることができるようにする 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な体力を高める ICTを活用し自己の体や動き、健康について興味関心を高められるようにする 安全にスポーツに取り組む為の基本的な体の使い方や知識について理解を深めさせる 	<ul style="list-style-type: none"> 集団の中で自己の役割を自覚して、仲間と協力して行う活動を多く設ける 自主的に練習やゲームを計画し、実施できる力を養う
英語	<ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」「話すこと」の指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 学期ごとに2回以上のパフォーマンステストを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 3年選択「コミュニケーション英語Ⅰ」において東京グローバルゲートウェイでの英語研修の実施 希望者に対して、JETによる英会話課外授業の実施
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を身に付けさせる 安全な実習の実施 ライフワークバランスについて常に考えさせる 	<ul style="list-style-type: none"> 学期ごとに自習を取り入れる 少人数制とし、理解を深めさせる 	<ul style="list-style-type: none"> 実習の際、自立して作業ができるよう機材を設置する 授業で間に合わない、分からない場合には授業以外にも補講を実施(週3日) 講義において、多様化する社会に合わせた情報を取り入れた視覚教材を活用
工業 (機械)	<ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本を確実に身に付ける 事故防止に努め、安全な作業を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣を身に付けるため、実習朝礼等の集合時間やレポート等の提出期限を守るよう留意する 安全作業を行うため、作業手順の確認を確実にを行う 	<ul style="list-style-type: none"> 社会の一員として活躍できる人材を育成するため、科全体で生徒に対応する よりよい自己実現・進路先を得られるように生徒を育成する
工業 (建築)	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の指導の充実 意欲的学習態度につながる実習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 4月の科会で基本年間指導方針について共有、指導方法について確認 民間人を起用し、社会での課題の解決に関する指導を含めた実習授業を導入 実習、製図、座学において、少人数制の導入によるきめ細かな指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 実習時の教材で具体的な項目を挙げた資料による授業の実施 授業のみならず現場見学会等を通じて、建築分野で活躍する専門家の仕事を見学し、建築で学ぶ技術の実社会での活用について学習
工業 (都市工学)	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な知識、技能を身に着けさせる 安全な実習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 科目毎に指導体制を構築し、指導計画を実践していく 遅刻、欠席指導など、基本的な生活習慣を身に付けさせ、安全対策に余裕をもって対応できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> 座学、実習、現場見学会などで、一貫した職業観、勤労観を育成できるような指導体制の充実を図る 心身における健康維持ができる技術者を育成する